

表 2-3-1 内分泌かく乱化学物質と卵巣癌に関するコホート研究

地域・対象者	対象者数	追跡期間	化合物	検討された交絡要因	カテゴリー毎の相対危険度、SMR/SIRなど			
					1	2	3	P trend
Hoover, 1977 米国、ケンタッキー州 あるひとつの私立病院で 合成エストロゲンPremarinの経口投与 の経験ある白人女性。 後ろ向き研究	908名 うちDES と併用していた者 は21名。	1939-1969年	DES (Premarinと併用)		O/E=3/0.1, SIR 30 (95%CI: 6.2-87.7)			
Bibbo, 1978 米国 RCT 1951-1952年にDESの投与を 受けた群と受けなかった群	2162名。 暴露群840、 非暴露群806名。 (インタビューできた のは、暴露群693、 非暴露群668名)	1976-77まで追跡	DES	初潮年齢、妊娠回数、 出産回数、閉経年齢、 レセルピン服用歴、 経口避妊薬使用、 エストロゲン療法、 子宮摘出、家族歴、 身長 (暴露非暴露で差なし)	罹患率； 暴露群4 (0.6%)、非暴露群1 (0.2%)			
Titus-Ernstoff, 2001 米国、ボストン Mothers Study cohort (80年代) & Dieckmann Study cohort (50年代)	7560人 (暴露群3844、 非暴露群3716)	1994 までfollow-up	DES	年齢、暦年、 年齢×暦年 (調整) 調査参加時年齢、 年齢、暦年、 BMI、教育、家族歴、 初潮年齢、 経口避妊薬、流産、 最初の出産年齢、 妊娠、閉経年齢、 ホルモン療法、 子宮摘出、喫煙歴 (流産が暴露群で多いなど)	死亡相対危険度 (95%CI) 0.71 (0.28-1.75)			

表 2-3-2 内分泌かく乱化学物質と卵巣癌に関する症例対照研究

地域・対象者数 (症例/ 対照)	化合物	血清レベルの比較			カテゴリー毎のオッズ比				
		症例	対照	P値	1.00	2	3	4	P trend
Donna, 1984 イタリア アレッサンドリア 病院ベース 60/127	農業				卵巣中皮腫				
					1.00	暴露確実+可能性あり; 4.38 (1.90-16.07)			
					1.00	暴露可能性あり; 2.20 (0.77-6.32)			
Donna, 1989 イタリア アレッサンドリア省 20-69歳女性 病院患者 対照は人口対照 65/137	triazine	全対象者 農業労働者に限定				たぶん暴露	確実暴露		
					1.00	1.6 (0.8-3.0)	2.3 (0.9-5.7)		
					1.00	2.1 (0.8-5.2)	3.0 (1.1-8.5)		
Glinda S, 2004 米国 匹・アソ・エルス 18-74歳女性 Cancer Surveillance Program登録者 対照は20%HCF (Health Care Financing Administration)80%地域 人口ベース 356/424	phenolphthalein	含有緩下剤服用				上皮性卵巣がん 暴露なし			
					1.00	1.1 (0.75-1.5)			0.9

表 2-3-3 内分泌かく乱化学物質と卵巣癌に関するエコロジカル研究

地域・対象者数	化合物	血清レベルの比較			カテゴリー毎のオッズ比				
		症例	対照	P値	1(低)	2	3	4(高)	P trend
Schreinemacher, 1999 米国 ミネソタミ州の4地域 1980-1989 白人	ethylenebisdithiocarbamates などの除草剤(?)				SRR(95%CI)(都市、森林地域と比較) 第一地域:(とうもろこし、大豆地域) 0.84(0.76-0.92) 第二地域:(小麦、とうもろこし、大豆地域) 0.65(0.52-0.82) 第三地域:(ポテト、小麦、テンサイ地域。除草剤使用が多い) 0.89(0.72-1.10)				
Schreinemacher, 2000 米国 白人 クロロフェノキシ除草剤で処理する spring wheat/durum wheatを生産 するミネソタ、ノースダコタ、 サースダコタ、モンタナ州。 計152の郡 1980-1989 エコロジカル研究	クロロフェノキシ除草剤				SRR(95%CI)(郡の小麦作付け面積<23000エーカーに対して) 23000-110999エーカー; 0.91(0.78-1.07) 111000エーカー以上; 1.06(0.90-1.25)				
Hopenhayn-Rich,2002 米国 ケンタッキー州の120の群 人口370万人 白人95% 1993-1997年のデータ。 エコロジカル研究	atrazine 暴露指標は公共水道水測定値、トウモロコシ栽培面積、アトラジン販売量から計算したscore。				暴露カテゴリー別罹患調整OR(95%CI)(reference categoryはlow群) Total score 1.00 1.01(0.83-1.21) 0.77(0.66-0.90) 0.76(0.65-0.88) アトラジン販売量score 1.00 1.06(0.92-1.22) 0.86(0.73-1.01) 0.80(0.67-0.96) トウモロコシ栽培面積 1.00 0.95(0.82-1.10) 0.83(0.71-0.97) 0.76(0.64-0.90) 公共水道水測定値 1.00 0.98(0.85-1.14) 0.90(0.78-1.04) 0.85(0.73-0.98)				
Koifman,2002 ブラジル ブラジルの11州 1996 - 1998年のデータ エコロジカル研究	農薬				相関係数(95%CI)(1985年の農薬販売量と1990年代の卵巣癌死亡率) 0.71(-0.14-0.85)				